

組合士

アラカルト

北海道医師協同組合保険局長

田中

たなか たけし
猛さん

後進育成も視野に組合事業の拡大を模索中

北海道医師協同組合保険局長を務める田中猛さんは組合士となったことがきっかけとなって社会保険労務士の資格と出会い、取得した経歴の持ち主である。そして、それを組合事業の充実と拡大に繋げ、さらに、その経験を基に事務局の後進人材の育成にも当たり始めている。

付加金に頼る文化のない組合

組合の運営資金はすべて組合事業からの収益で手当てし、組合員からの拠出は一口5000円の出資金のみ、付加金ゼロ。これで昭和30年の組合設立以来ほぼ健全運営を維持してきているのが北海道医師協同組合である。

「組合員の付加金に頼らない。これが組合事務局の組織文化になっている」そうだが、それは「組合事務局には経営感覚が求められる」ことでもある。最近でこそ、組合運営の方針・課題として「財務体質の改善と強化を指して「組合も経営する」というスタンスで運営に当たらなければならぬ」と語られるが、50年以上に及んで実績を積み重ねてきている組合は非常に少ないだろう。

「組合は経営するもの」という特色は、組合員が開業医で構成されているという特殊性も要因の1つになっている。開業医は日々の診療業務から医院経営まで、

すべて一人で対応していかなければならない。診療は休めないし、看護師や事務スタッフなど病院「従業員」の雇用主として経営責任も果さなければならぬ。「とても組合まで手は回らない」のが現実である結果、「自然と、組合事務局が常に先を見ながら組合員をリードする牽引役という体質が育つ」というわけだ。

そんな事務局が運営してきた事業は、昭和40年代まではいわゆる組合のスケールメリットを活用した転貸融資事業や協同購買事業、自動車保険や火災保険などの損害保険取扱いなどが中心だった。その後、昭和40年代後半には、億単位の設備投資を行って血液検査センターの運営を開始したが、「これからの主流事業になる」という組合理事会の思惑通りには展開せず、平成元年にはやむなく事業を撤退している。

同じ頃、訴訟のリスクをカバーする医師損害賠償責任保険や、医師の病气やけがによる開業医の休業補償が時代のニーズとして登場してきたことを背景に、保険事業が組合のメイン事業として伸張していくようになる。そして、手術等を行う医師にとって「手は命」である点に着目した「手の保険」を企画するなど、組合員である医師のニーズに合わせた保険を保険会社の協力も得ながら企画、提供

するなど事業を進めている。

保険業務展開のきっかけとなった組合士資格取得

田中さんは昭和52年、23歳のとき入職した。先輩たちから徹底的に教え込まれたのは「自分たちの『食い扶持』は自分たちで稼ぐということ、そのためには組合員のためになる事業を興せよう」とだった。そして、「組合員はお客様」は組織の行動様式であり、「組合は経営である」という意識は「職員に共通したマインドになっている」と言う。

そういう「文化」の下で育ち、入職10年目を迎える頃に、当時の事務局長の薦めもあって組合士試験に挑戦、資格を取得する。「取得したからといって日常生活に変化はなかった」が、前述の血液検査事業の撤退による組織のリストラに当たった中で強く意識するようになっていた「労働法規、労務関係問題」に対する勉強は試験をきっかけにさらに充実したと言った。そして、北海道組合士協会の研究会に参加し、講師を務めた社会保険労務士と出会ったことで「社会保険労務士という資格は事務局だけでなく組合員にとっても今後、ニーズが大きくなり、本格的に機能する時代がくる」と考えるようになり、勉強の末、平成10年に資格を

取得した。以後、たとえば医院の規程づくりや退職金の資金創りプランなど組合の保険事業と絡めた業務や、各種助成金等の手続き代行など、組合事業の拡大にその専門性を活かして繋げてきているのである。

人間関係づくりと信頼関係づくりのできる人材育成へ

組合員には職員10人前後のクリニックの院長も多い。「彼らは医療行為から職員教育、病院経営まで一人で何役もこなしており、一般的なサポーター、気軽に相談できる相手を求めている」ことから、組合ではここに着目した100%子会社を設立、田中さんはそのトップに就任している。「北海道全域を対象とするので、組合員との物理的距離は遠いが、このようなサポーターを通じて人間関係ができてくると、信頼関係も生まれている。いろいろな相談事が持ち込まれる」と、組合員医師の「経営の人的コンサルティング」に当たっている。

「今後は、このような人間関係づくりで積極的に取り組める人材を組合事務局で育てられるかが課題」と言う田中さんは「それには自分の行動、背中を見てもらうしかない」と、自らの気を引き締めながら後進の成長に期待を寄せている。

